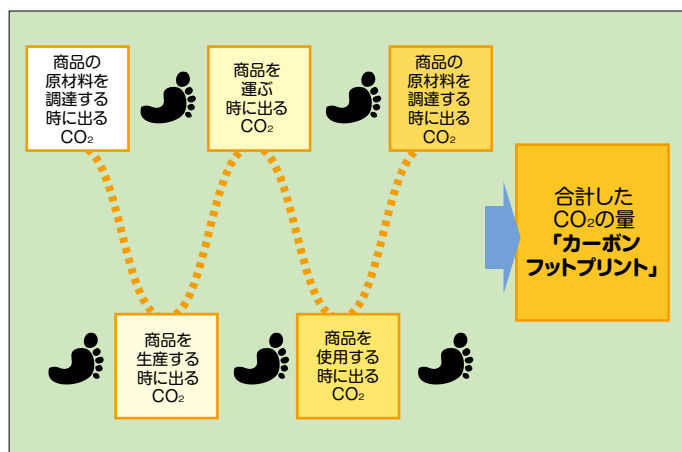


なかゆくい

Series 4

カーボンフットプリント (CFP) ってご存じですか？

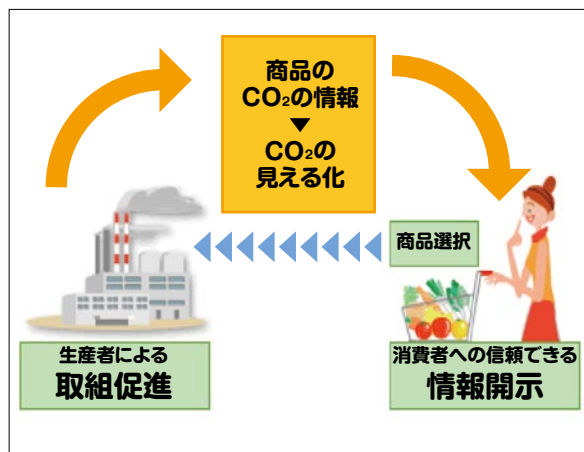
経済産業部環境資源課



カーボンフットプリントとは、直訳しますと「炭素の足跡」です。CO₂が「どこ」で「どれだけ」排出されたかを「見える化」したものです。私達が、日々購入、消費している商品・サービスは、作られてから捨てられるまでの間、石油を始めとする多くのエネルギーを使用しております。これらの商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出された「温室効果ガス (CO₂) の全体の量」を示したものです。



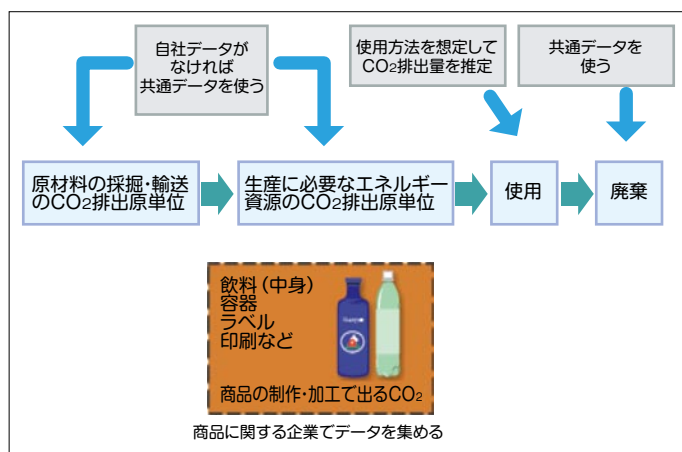
カーボンフットプリントってなんですか？



目的は2つあります。一つは、消費者が商品・サービスに係るのCO₂排出量について、簡単に把握することができます。消費者が排出量を知ることにより、CO₂削減への関心が高まるとともに、CO₂排出量を考慮した商品の購入が見込まれます。二つめは、事業者がカーボンフットプリントを算定することで、効率的なCO₂排出量の削減が可能になります。また、より数値の低いカーボンフットプリントの表示に向けた事業者の削減努力の効果が期待できます。



カーボンフットプリントを実施する目的は何ですか？



商品・サービスのカーボンフットプリントは、LCA手法※を用いてライフサイクル全体で排出されるCO₂量を算出し、地球温暖化に与える影響の程度としてCO₂排出量に換算します。※LCAとは、商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るライフサイクル全体を通して環境負荷を定量的に算定し、環境への影響度を評価することを言います。



カーボンフットプリントのCO₂排出量は、どのように算定するのですか？



カーボンフットプリントのマークはどんなマークですか？

カーボンフットプリントは家庭で取り組むCO₂削減や削減努力にも役立ちますか？



カーボンフットプリントで表示しているCO₂の表示は信頼できるのですか？



最後に・・・

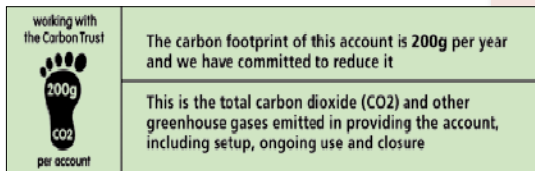
カーボンフットプリントのマークについては、図（上）のとおりです。

なお、本マークにつきましては、早ければ年度内に市場でみられるようになる予定となっております。図（下）



海外でも実施されているんですか？

海外では、2007年にパイロットプロジェクトとして、イギリスが世界で初めて開始しており、2008年2月時点で20社75品目がカーボンフットプリント表示商品を市場に流通させております。その他、ヨーロッパ、北米等でも実施しております。



家庭でのCO₂排出は、電気やガス、自家用車などの使用によるものだけではありません。日々購入する商品の使用やサービスの利用もその排出量に影響しています。

カーボンフットプリント・マークが表示されることで、買い方、使い方を工夫することにより、CO₂排出削減が可能となります。



信頼性を確保するために、「第三者による検証制度」が検討されています。併せて算定・表示等に関するガイドライン（指針）を作成したり、CO₂排出量の簡便な算定手法を開発したりします。



CO₂を始めとする温室効果ガスの影響による地集温暖化が、大変深刻な問題となっております。日本のみならず、世界各地で、地球温暖化による様々な影響が現れております。沖縄でも例外ではありません。

近年、サンゴの白化現象なども地球温暖化の影響なのではないでしょうか！

現在、マイバック・マイ箸の推進、新エネ・省エネ機器の促進、国内CDMなど、CO₂削減に関する各種取組が実施されておりますが、今後はカーボンフットプリントも削減の方法の一つとなります。

近年、食の安全等から、安価な商品ではなく、質・安全を求める消費者が増えておりますが、同様に環境に配慮するカーボンフットプリントマークのついた環境配慮製品を消費者が選択し、購入するといった光景が近い将来見られるようになると思います。

皆さんも是非、商品の価格だけではなく、カーボンフットプリントマーク付きの商品を確認し、環境配慮に心がけましょう！